江戸川大学国立公園研究所主催シンポジウム

「ピーターラビット™とナショナル・トラストをめぐって」

2018年11月3日(土・祝) 13時30分～15時　入場無料

江戸川大学Ｂ棟1階 メモリアルホール　250名(先着順・事前予約不要)

※学園祭が同日開催のため、本学駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。
流山おおたかの森駅東口より、スクールバス（無料）をご利用いただけます。

本シンポジウムでは、ピーターラビットが象徴するようにイギリスで大成功を収めた
ナショナル・トラスト運動や、わが国のナショナル・トラスト運動のこれまでとこれからを再考し、
住みやすい環境づくりと市民活動について考えます。

- 「ピーターラビットの生みの親：ビアトリクス・ポターが残した風景」
  河野芳英氏（大東文化大学英米文学科教授）
- 「日本で広がるナショナル・トラスト活動」
  公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会　中西直子氏
- 「（仮題）住みやすい環境づくりと市民活動」
  ながれやまガーデニングクラブ花恋人（カレント）会長　小高静子氏
- 「ナショナル・トラストと木原文庫」（30 分ミニシンポジウム）

主催：江戸川大学国立公園研究所　共催：社会学部現代社会学科・駒木学習センター

江戸川大学企画総務課　〒270-0198 千葉県流山市駒木474 【04-7152-9908】